

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2023 年 第 26 週（6 月 26 日～7 月 2 日）

＜全数把握対象疾患の患者情報＞

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	4 人 類型 患者 3 人、 無症状病原体保有者 1 人 血清型 O157 3 人、O1 1 人
四類感染症 E 型肝炎	1 人 推定感染地域 国内
レジオネラ症	4 人 病型 肺炎型 4 人
五類感染症 アメーバ赤痢	2 人 病型 腸管アメーバ症 2 人
急性脳炎	2 人 病原体 不明 2 人
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 人 血清群 A 群
侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 人
水痘（入院例）	1 人 病型 検査診断例
梅毒	8 人 病型 早期顕症Ⅰ期 5 人、 早期顕症Ⅱ期 1 人、 無症状病原体保有者 2 人
播種性クリプトコックス症	1 人
百日咳	1 人 年齢階級 5 歳
薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 人

＜新型コロナウイルス感染症発生状況＞

新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数(7.18→7.25: 図 1)は前週と同水準であった。保健所別では、幸手(11.43)、春日部(10.20)、越谷市(10.08)保健所管内からの報告が多い。

＜定点把握対象疾患の患者情報＞

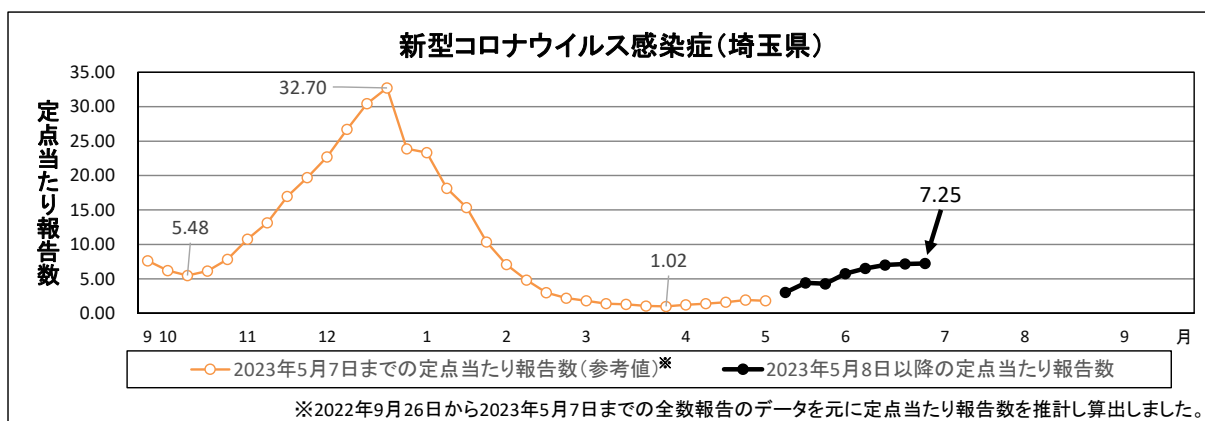
ヘルパンギーナ(7.01→8.90: 図 2-1, 2, 3)の定点当たり報告数は、前週と比較して大きく増加し、非常に多い状況である。保健所別では、熊谷(17.75)、川口市(16.23)保健所管内で非常に多い。年齢階級別では 1～3 歳の報告が多く、55%を占めた。RS ウイルス感染症(2.87→2.47: 図 3-1, 2)の定点当たり報告数は、前週と比較してやや減少したが、多い状況が続いている。保健所別では、幸手(7.22)、南部(6.80)保健所管内からの報告が多い。手足口病(1.82→1.60: 図 4)の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。年齢階級別では、3 歳が最も多い。咽頭結膜熱(0.60→0.55: 図 5)の定点当たり報告数は、前週と同水準で、やや高い水準にあり、注意が必要である。

眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎 1 人、流行性角結膜炎 12 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、マイコプラズマ肺炎 1 人、インフルエンザ（入院）1 人の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ
(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第26週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症



注目すべき疾患

ーヘルパンギーナー

ヘルパンギーナの定点点あたり報告数は、第20週以降連続して増加し、前週に警報レベル開始基準値(6.00)を超えた(図2-1)。警報レベル開始基準値を超えている保健所数は、前週の8保健所から11保健所へ増加した(図2-2)。年齢階級別では、例年に比べ、4歳及び5歳の割合が増加している(図2-3)。

図2-1 ヘルパンギーナの定点点あたり報告数の推移

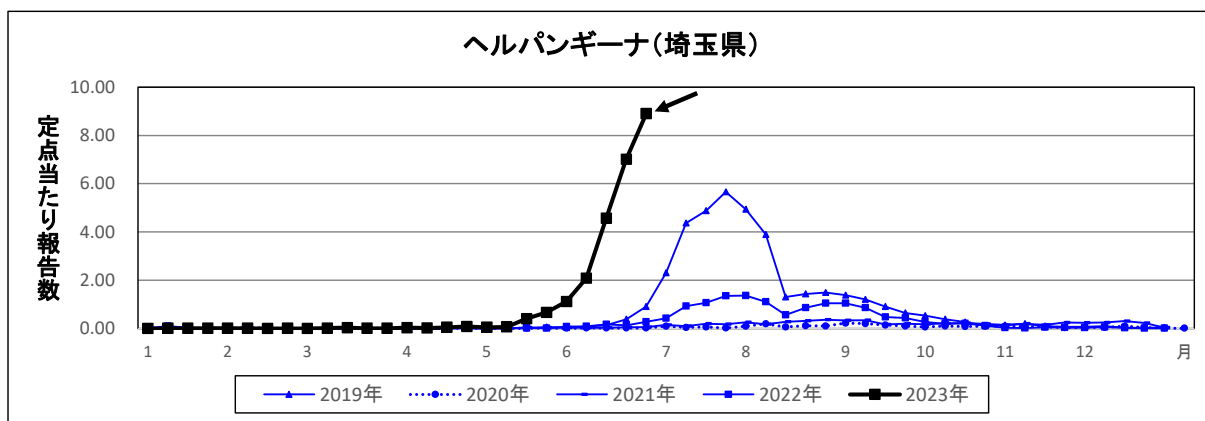


図2-2 ヘルパンギーナの保健所別流行状況の推移(第24週～第26週)

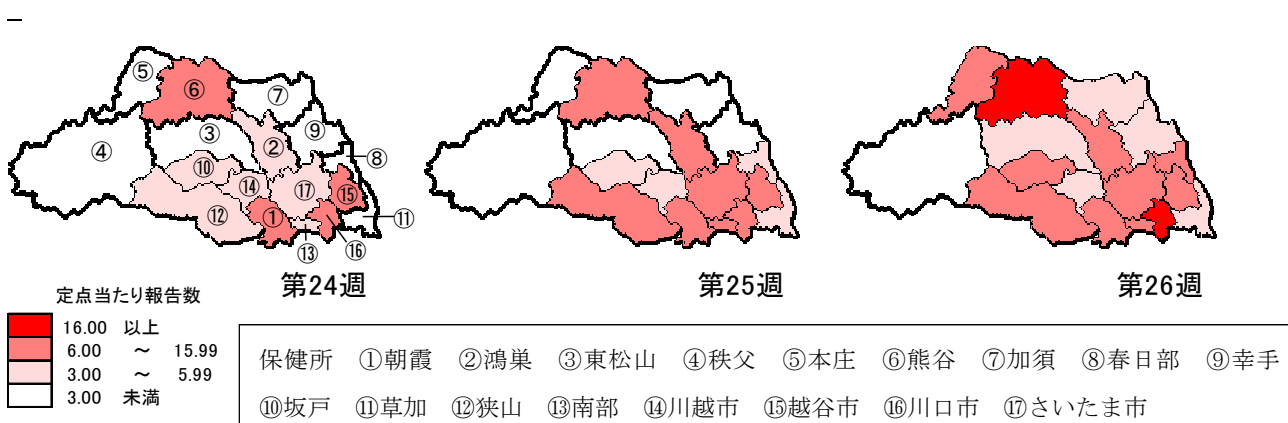
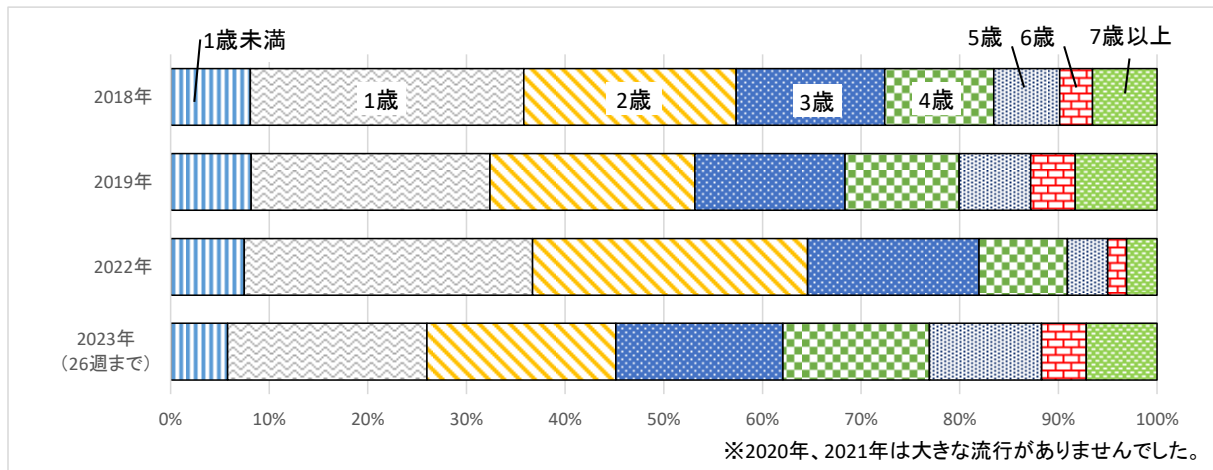


図 2-3 ヘルパンギーナの年齢階級別報告割合の推移



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図 3-1 RS ウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

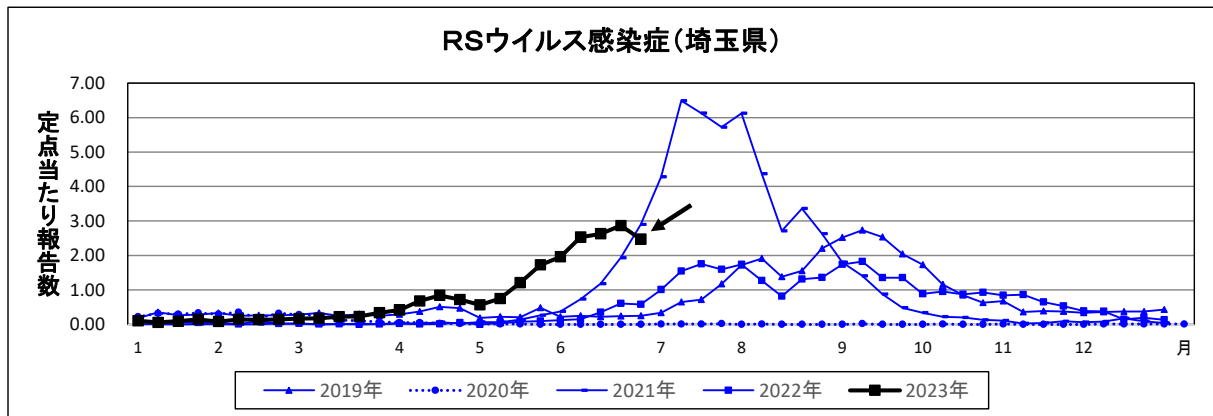


図 3-2 RS ウイルス感染症の保健所別流行状況の推移 (第 24 週～第 26 週)

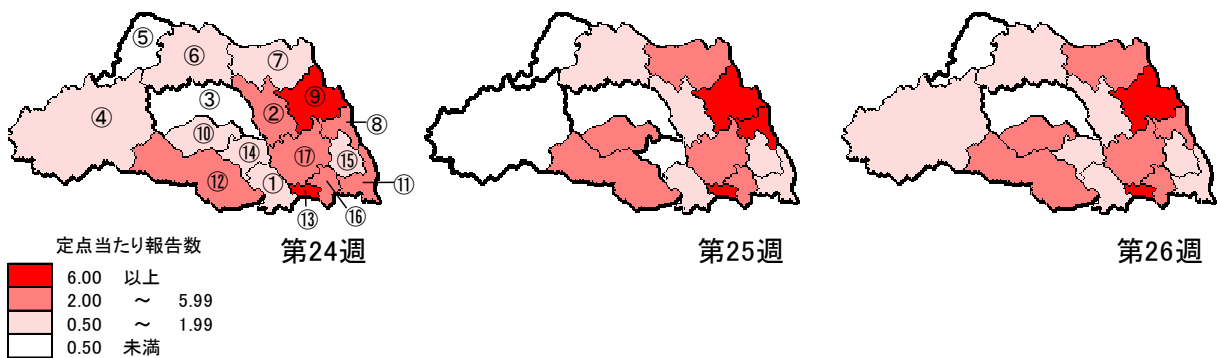


図4 手足口病

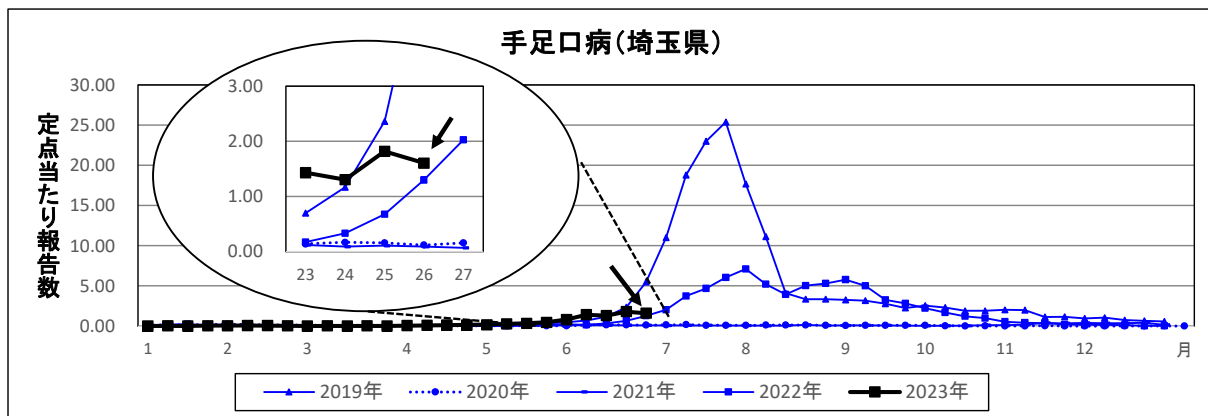
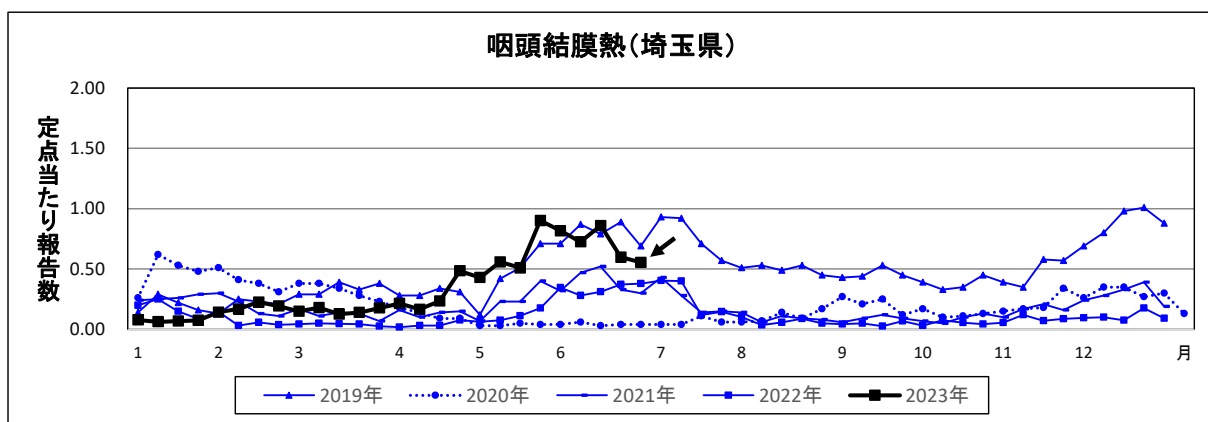


図5 咽頭結膜熱



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第26週)

(2023年7月4日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢		3	パラチフス		1
腸管出血性大腸菌感染症	4	57			
四類感染症					
E型肝炎	1	25	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		3	ニパウイルス感染症		
エキノкокクス症			日本紅斑熱		
エムポックス		4	日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	4	55
つつが虫病		2	レプトスピラ症		
デング熱		2	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢	2	17	侵襲性肺炎球菌感染症		36
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		4	水痘(入院例に限る)	1	7
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		33	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		3	梅毒	8	239
急性脳炎	2	18	播種性クリプトコックス症	1	4
クリプトスポリジウム症			破傷風		3
クロイツフェルト・ヤコブ病		5	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	18	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1
後天性免疫不全症候群		17	百日咳	1	22
ジアルジア症		2	風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症	3	6	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1	1

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2023年第26週

6月26日～7月2日)

保 健 所	報告数 定点当たり	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)
		#1	感染症	感染症																	
全 県	報告数 228	1,891	405	91	323	1,142	28	263	3	41	1,460	23	1	12	-	-	1	-	-	-	1
	0.87	7.25	2.47	0.55	1.97	6.96	0.17	1.60	0.02	0.25	8.90	0.14	0.02	0.29	-	-	0.09	-	-	-	0.09
朝 霞	報告数 53	168	24	9	26	115	2	6	1	6	186	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
	2.30	7.30	1.60	0.60	1.73	7.67	0.13	0.40	0.07	0.40	12.40	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-
鴻 巣	報告数 16	163	22	3	13	79	3	21	1	8	136	4	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	0.84	8.58	1.83	0.25	1.08	6.58	0.25	1.75	0.08	0.67	11.33	0.33	-	-	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数 -	37	-	1	4	25	-	4	-	-	22	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	4.63	-	0.20	0.80	5.00	-	0.80	-	-	4.40	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秩 父	報告数 1	32	3	6	-	-	-	-	-	2	5	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
	0.20	6.40	1.00	2.00	-	-	-	-	-	0.67	1.67	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
本 庄	報告数 2	30	-	-	-	2	-	3	-	1	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0.29	4.29	-	-	-	0.50	-	0.75	-	0.25	7.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊 谷	報告数 -	78	9	8	4	58	1	4	-	2	142	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	-	6.00	1.13	1.00	0.50	7.25	0.13	0.50	-	0.25	17.75	0.13	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-
加 須	報告数 13	34	18	3	7	1	1	12	-	1	35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1.30	3.40	3.00	0.50	1.17	0.17	0.17	2.00	-	0.17	5.83	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
春 日 部	報告数 16	102	23	2	45	149	4	8	-	3	58	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	1.60	10.20	3.83	0.33	7.50	24.83	0.67	1.33	-	0.50	9.67	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数 33	160	65	9	29	15	1	24	-	-	51	1	-	1	*	*	*	*	*	*	*
	2.36	11.43	7.22	1.00	3.22	1.67	0.11	2.67	-	-	5.67	0.11	-	0.50	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数 3	92	14	1	-	38	-	14	-	1	47	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0.30	9.20	2.33	0.17	-	6.33	-	2.33	-	0.17	7.83	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草 加	報告数 12	180	8	10	8	109	1	32	-	2	62	1	-	1	*	*	*	*	*	*	*
	0.63	9.47	0.67	0.83	0.67	9.08	0.08	2.67	-	0.17	5.17	0.08	-	0.33	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数 45	226	56	9	44	76	2	39	-	1	102	2	1	3	-	-	-	-	-	-	1
	1.80	9.04	3.50	0.56	2.75	4.75	0.13	2.44	-	0.06	6.38	0.13	0.20	0.60	-	-	-	-	-	-	1.00
南 部	報告数 6	64	34	-	31	70	2	7	-	3	46	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	0.75	8.00	6.80	-	6.20	14.00	0.40	1.40	-	0.60	9.20	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
川 越 市	報告数 4	50	5	1	20	31	1	8	-	1	46	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*
	0.29	3.57	0.63	0.13	2.50	3.88	0.13	1.00	-	0.13	5.75	-	-	0.50	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数 5	131	11	10	12	49	3	5	-	-	77	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0.38	10.08	1.38	1.25	1.50	6.13	0.38	0.63	-	-	9.63	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川 口 市	報告数 7	157	51	11	40	127	5	36	1	5	211	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	0.35	7.85	3.92	0.85	3.08	9.77	0.38	2.77	0.08	0.38	16.23	0.15	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-
さいたま市	報告数 12	187	62	8	40	198	2	40	-	5	204	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	0.28	4.35	2.21	0.29	1.43	7.07	0.07	1.43	-	0.18	7.29	0.32	-	0.11	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0.00)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

7月 4日

13:00 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2023年第26週

6月26日～7月2日)

	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	228	1	-	5	9	15	17	8	19	15	16	14	54	17	6	9	10	7	4	1	1
新型コロナウイルス感染症	1,891	5	12	31	17	16	16	24	18	15	26	30	202	189	289	206	236	247	149	104	59
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～						
RSウイルス感染症	405	64	90	94	70	44	22	16	3	-	1	-	1	-	-						
咽頭結膜熱	91	1	2	27	17	18	11	11	1	1	2	-	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	323	-	1	12	22	26	51	41	48	30	26	24	31	2	9						
感染性胃腸炎	1,142	6	52	110	113	137	154	158	111	75	47	44	74	6	55						
水痘	28	-	2	4	3	2	2	2	2	1	1	2	5	1	1						
手足口病	263	2	10	56	43	64	36	20	11	10	3	3	3	-	2						
伝染性紅斑	3	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん	41	-	9	21	6	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	1,460	9	86	304	266	241	178	188	71	42	21	11	27	4	12						
流行性耳下腺炎	23	-	1	1	2	1	2	4	5	4	2	-	1	-	-						
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	12	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	2	2	4	-	1	1	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ(入院)	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第24週 (6月12日～6月18日)

令和5年7月5日

<全国情報>

インフルエンザ/ COVID-19定点報告疾患: インフルエンザの定点当たり報告数は第21週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鹿児島県(10.55)、宮崎県(8.16)、長崎県(4.47)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は50例と前週と比較して減少した。都道府県別では23都道府県から報告があり、年齢別では0歳(1例)、1～9歳(20例)、10代(3例)、20代(1例)、30代(3例)、40代(1例)、60代(4例)、70代(5例)、80歳以上(12例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第20週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(28.74)、鹿児島県(9.60)、千葉県(7.57)である。

小児科定点報告疾患(主なもの): RSウイルス感染症の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は大分県(6.72)、愛媛県(6.35)、山口県(6.05)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は山形県(1.25)、北海道(1.19)、福岡県(1.14)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は福岡県(4.40)、富山県(3.07)、大阪府(2.69)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は大分県(9.94)、長野県(9.56)、熊本県(9.34)である。手足口病の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は茨城県(3.49)、宮崎県(2.39)、大分県(1.92)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(0.09)、大分県(0.08)、山口県(0.05)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第19週以降増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は和歌山県(10.50)、宮崎県(10.06)、鹿児島県(9.94)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は兵庫県(0.39)、山口県(0.21)、新潟県(0.19)である。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は青森県(1.17)、山口県(0.44)、静岡県(0.20)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告は減少し、今週の報告はなかった。

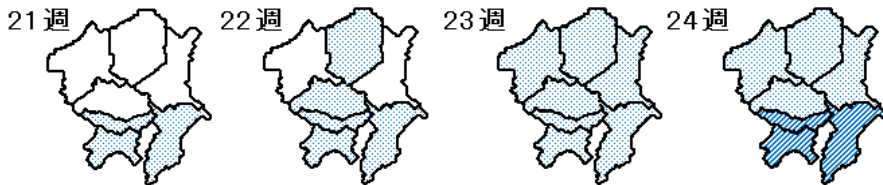
Infectious Diseases Weekly Report Japan 2023年 第24週(6月12日～6月18日): 通巻第25巻 第24号 より

<関東情報>

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は、東京都(6.09)、千葉県(5.67)、神奈川県(5.15)からの報告が多い。

ヘルパンギーナ

- 5.00 以上
- 1.00 ～ 5.00
- 1.00 未満



2023年 24週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	6,344	1,670	134	20	57	290	257	550	362
	定点当たり	1.29	1.09	1.12	0.26	0.66	1.11	1.25	1.33	1.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	27,614	9,245	707	260	328	1,832	1,552	2,420	2,146
	定点当たり	5.60	6.06	5.89	3.42	3.77	7.02	7.57	5.85	5.91
RSウイルス感染症	報告数	9,093	2,005	70	96	58	431	336	604	410
	定点当たり	2.90	2.09	0.93	2.00	1.07	2.63	2.63	2.32	1.78
咽頭結膜熱	報告数	2,082	555	51	10	45	141	64	134	110
	定点当たり	0.66	0.58	0.68	0.21	0.83	0.86	0.50	0.52	0.48
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	5,083	1,534	149	65	51	315	176	450	328
	定点当たり	1.62	1.60	1.99	1.35	0.94	1.92	1.38	1.73	1.43
感染性胃腸炎	報告数	18,121	6,314	382	115	349	1,388	983	1,743	1,354
	定点当たり	5.77	6.58	5.09	2.40	6.46	8.46	7.68	6.70	5.89
水痘	報告数	401	125	5	6	8	32	12	34	28
	定点当たり	0.13	0.13	0.07	0.13	0.15	0.20	0.09	0.13	0.12
手足口病	報告数	2,412	958	262	29	12	214	144	191	106
	定点当たり	0.77	1.00	3.49	0.60	0.22	1.30	1.13	0.73	0.46
伝染性紅斑	報告数	53	18	2	-	-	3	1	11	1
	定点当たり	0.02	0.02	0.03	-	-	0.02	0.01	0.04	0.00
突発性発しん	報告数	982	303	16	29	20	50	35	83	70
	定点当たり	0.31	0.32	0.21	0.60	0.37	0.30	0.27	0.32	0.30
ヘルパンギーナ	報告数	14,112	4,772	146	174	208	749	726	1,584	1,185
	定点当たり	4.50	4.98	1.95	3.63	3.85	4.57	5.67	6.09	5.15
流行性耳下腺炎	報告数	281	93	5	1	9	30	10	16	22
	定点当たり	0.09	0.10	0.07	0.02	0.17	0.18	0.08	0.06	0.10
急性出血性結膜炎	報告数	8	3	-	-	-	2	-	-	1
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.05	-	-	0.02
流行性角結膜炎	報告数	240	101	21	9	2	12	14	8	35
	定点当たり	0.35	0.49	1.24	0.75	0.14	0.29	0.40	0.21	0.71
細菌性髄膜炎 #2	報告数	5	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数	13	4	-	1	-	-	-	1	2
	定点当たり	0.03	0.05	-	0.14	-	-	-	0.04	0.17
マイコプラズマ肺炎	報告数	25	2	1	-	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.05	0.02	0.08	-	-	0.09	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(--0.00)

感染症発生動向調査
2023年

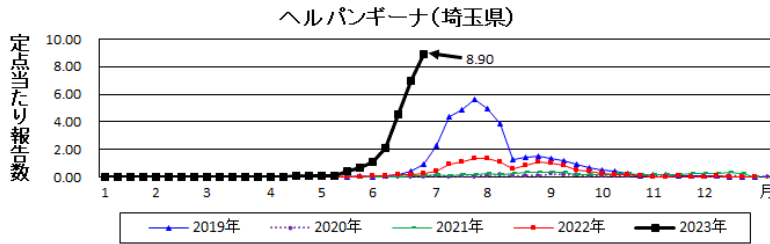
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第5週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第6週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第7週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第8週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第9週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第10週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第11週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第12週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第13週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第14週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第15週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第16週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第17週](#)
- ▶ [感染症発生動向調査 2022年](#)
- ▶ [感染症発生動向調査 2021年](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第18週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第19週](#)

感染症の流行状況 2023年 第26週

2023年第26週（6月26日～7月2日）の要点 令和5年7月5日

[ヘルパンギーナ](#)の定点当たり報告数は、前週より大きく増加し、非常に多い状況です。

外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	手足口病	→	★★
新型コロナウイルス感染症	→	—	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	↓	★★★★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	→	★★	ヘルパンギーナ	↑	★★★★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★
感染性胃腸炎	↓	★★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘(みずぼうそう)	→	★	流行性角結膜炎	→	★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい→★、★★、★★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

